

天候不順から一転、猛暑の気配

最後まで気を抜かず、生き物「田んぼ」を育てよう!

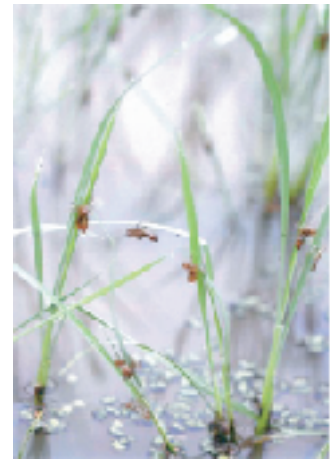
生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)



6月に入ってから天候が回復し、5月中の低温で生育が遅れていた稲の生育もほぼ平年並みになりました。当柏崎・刈羽地区では茎数・葉数は平年並み、草丈はやや長く葉色は濃い状態になっています。6月の日照時間と気温は平年並み大きく上回ったデータになっています。

しかし、カキツバタや田上や佐渡のアジサイの開花が1週間程度遅れてしまったりという報告をみると、気温や日照時間に全ての植物が同じように反応する訳ではないようです。それぞれの植物によって、その動きに固有の特色がある植物でも生育の仕方が変わります。そのそれぞれ



点では稲は環境条件の変化に比較的適応しやすい性質をもっていると考えられます。

我が家の有機水田の赤トンボ(多くがアカアカネ、ノシメトンボが若干)の羽化も、例年は6月16〜17日頃でしたが、今年は1週間遅れで22〜23日に最盛期を迎えました。羽化数は残念ながら平年に比べて相当少なかつたようです。それでも2、3日の間は農道を歩く顔にぶつかってくる程に群れ飛んでいました。

赤トンボは、田に入水すると羽化するそうです。今年の入水はほぼ1週間遅れでしたので、丁度符合することになりませんでした。しかし、羽化は必ず水温にも影響を受けるはずですから、両方の影響を受けたのかも知れません。



有機水田は、トンボが羽化するまで落水を待っています。他の特裁水田は中干のために排水しても梅雨入り後は結構降水量もあつて中々乾かず、折角溝切をおこなつても溝が潰れてしまつたところも相当あります。

さて、有機水田の雑草の発生状況ですが、こちら例年とはまつたく違つた様相を見せています。今まで経験をしたことがないほどに見事にコナギが大発生しているのです。No1水田：スダレ型のチェーンを一回引きましたが、その時にコナギは2〜3葉になつていて時期遅れ。その後に取りをおこないました。コナギは勢力を盛り返して田の表面全体に繁茂しています。もはや手をつける気力もなくて放置。

No2水田：例年ならば、まつたくと言って良いほど、草は発生しないのですが、コナギとホタルイが見えたためチェーンを一回引き、他の2枚の田んぼに比べれば我慢の置き程度なのでそのまま放置。稲の茎数はもつとも少ない。

No3水田：例年もつともコナギの発生が多い水田ですが、チェーンを一回引いて、売り物のほうれん草ほどに生長したコナギを最近になつて取りました。コナギの多い割には稲の生育は順調で今年も反収がもつとも多く望めそうです。



して作業をおこなつては、例年とは違つた原因は何でしょうか。今年、例年ともつとも違つたのは田が乾かずに柔らかいまま耕耘し、間もなく入水して荒代をおこなつてしまつたことです。

また、田の水の濁り具合は、例年はアメリカンコーヒーで、今年はウロン茶程度でした。田んぼも「生き物」なんだというところを実感しているところではあります。

この先、私たちが稲のためにできることは穂肥と水管理だけになつてしまいましたが、正に最後の仕上げです。気を抜かずに頑張りたいものです。

(内山常蔵 記)



して作業をおこなつては、例年とは違つた原因は何でしょうか。今年、例年ともつとも違つたのは田が乾かずに柔らかいまま耕耘し、間もなく入水して荒代をおこなつてしまつたことです。

また、田の水の濁り具合は、例年はアメリカンコーヒーで、今年はウロン茶程度でした。田んぼも「生き物」なんだというところを実感しているところではあります。

この先、私たちが稲のためにできることは穂肥と水管理だけになつてしまいましたが、正に最後の仕上げです。気を抜かずに頑張りたいものです。

(内山常蔵 記)

Agri-s の



農機メンテの部屋

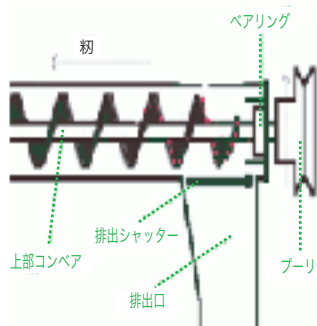
Vol. 9

地域によつては2ヶ月連続で雨の降り方が全然違う今年の大雨は、短時間の大雨はあつたが、当地区では概ね全体的には少ない感じを受けている人が多い様です。

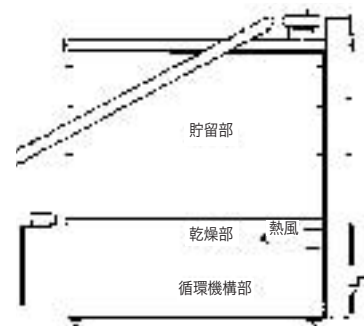
そんな梅雨空の中、今年もJAS監査が、朝8時半から午後2時過ぎまで行われました。圃場では一ヶ所の圃場で隣接一般圃場の乗入れに散布された除草剤痕の影響について指摘され、干渉地帯幅の少ないところでは隣接の乗入れまで除草管理までしなければならぬようです。また、ラジコンヘリ防除地域の近隣圃

場において、境界から2等(4等)の緩衝地帯の設置、若しくは別列り管理等の実施状況の確認、書類検査では作業日誌と記録帳との矛盾点がないかチェック、一部作業日誌記録の欠落を発見、記録書類作成のチェック方法、記録様式の連携、さらにJASシールと転換期間中シールとの識別性の向上等、多々指摘を受けて今年度の監査を終了し、早速、1ヶ月以内に内部規約等の改正作業を始めるところです。総計50、60ページ程度の内、20ページ位の書換えが必要と感じます。今回の監査では、各機械において、整備状況、洗浄記録のチェック、作業場内において、異品種混入防止策のチェックが重点的にされていきました。作業場内の有機、その他の貯蔵スペースの明確な表示をされているのかの確認、又、乾燥・調製機械等の内部清掃状況です。有機と特裁、慣行は別機器で作業するので問題にはなりませんでしたが、乾燥機の上にあるスクリーン内の残留物、下部にある、スクリーン、下部

《下部スクリーンケース》
残留モミの例(これは我家ではありません。念のため。)
特に兼用で使用されている場合、これらは各機械の洗浄記録に乗せな



《上部スクリーン関係》



《乾燥機全体図》

ス内、バケットケース内等。また、モミ一時貯蔵部屋およびパイプ出入り口の残留物のチェックです。

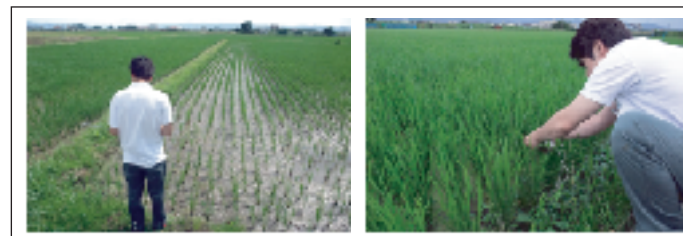
大豆関係の作業中で一口タリーの異音発生
チェーンケース側の反対側より異音発生で確認したらご覧のとおりです。(右下写真)

機械関係
以上のことから清掃は確実に作業し、清掃記録を残すことにより自分を守る事にもなり、消費者からの評価も更に高まると思います。



余談
最近、知り合いより農政局から当日朝に電話があり各付品の買い上げや有機表示の任意調査に当日訪問され、一日中付き合われた等(当然、本人は仕事を当日キャンセル)

ですが、長年使用していて、ベアリング内に泥水等が入り破損したようです。ベアリング、シール等の交換にて修理完了。ドライブハローと違い、毎年点検グリス注入はほとんどされてない方が多いようです。5年以上使用していたらベアリングカバーを外し、グリスを入れて下さい。グリスを注入していれば防げる故障です。



圃場巡回
ご協力ありがとうございました
Agri-S 記

ルした)の話聞きましたが、立ち入り調査(強制調査)でも無い任意調査の場合、当日拒否又は、スケジュール調整等が出来ないものがある。悩む処ではあります。